

災害復旧と同時に耐震補強でより安全・安心な施設に — 県民文化センター大ホール等災害復旧工事 —

年間約26万人が利用する「県民文化センター大ホール」の災害復旧工事が平成24年7月に完了し、同年9月から一般の利用を再開しました。また、耐震補強工事もあわせて実施し、安心して利用できる安全な施設になりました。

工事前の状況



大ホール

様々なイベントを行う大ホールの状況。舞台上方の反射板が壊れて客席に落下しました



大ホール

大ホールの反射板が落下し、下地が見えています



階段

階段を支える梁に大きな亀裂が入りました

災害復旧+耐震補強を実施

しかも…

多くの人を利用する施設のため、通常施設よりも耐震性能を強化（避難所と同等）

※耐震性能指標(Is値)は0.6で「耐震性あり」とされているが、大ホールは0.77(避難所と同等の耐震性能)

工事完了後



大ホール(後方)



大ホール(前方)

反射板を修繕するとともに耐震補強を行いました



階段

階段を造りかえたうえで亀裂の補修を行いました。また、耐震ブレースを設置して耐震補強を行いました

より地震に強い安全・安心なホールとして一般利用を再開